

日々の暮らしに関するアンケート調査結果について

○趣旨

田原地域の活性化を推進していくにあたり、地域に対する意識や関わりなどを調査し、田原地域の活性化の基礎資料とする。

○対象範囲

田原地域在住の方(上田原、下田原、田原台、緑風台、さつきヶ丘)

○期間

平成29年5月1日(月)から平成29年6月20日(火)まで

○配布方法

地区役員の方などのご協力を得て、各世帯へアンケート用紙を配布。

○回収方法等

ご回答いただいたアンケート用紙は封筒に封入し、地区の役員または田原支所へ提出。(郵送可。切手は自己負担。)

○調査項目

アンケートの調査項目は、「回答者に関する属性」、「田原地域の暮らしやすさ」、「地域活動」、「普段の買物」、「普段の移動方法」、「地域の将来」などについて調査を実施。

○数値の統計的な取り扱いについて

比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入した数値で示しているため、合計が100%を前後する場合があります。

統計的処理をかけるに際し、住まいを「上田原」、「下田原」、「田原台一～五丁目」、「田原台六～九丁目」、「緑風台・さつきヶ丘」を地区別単位として表記した。(以下「地区別」という。)

また、年齢を「10～30代」、「40代」、「50代」、「60代」、「70代以上」を年齢別単位として表記した。(以下「年齢別」という)

設問に対し1つの回答を求めた内容で、複数回答についても有効とし処理を行った。

○配布数 3,342件、回答数1,261件(回答率37.7%)

○調査機関

四條畷市田原支所

調査結果の概要

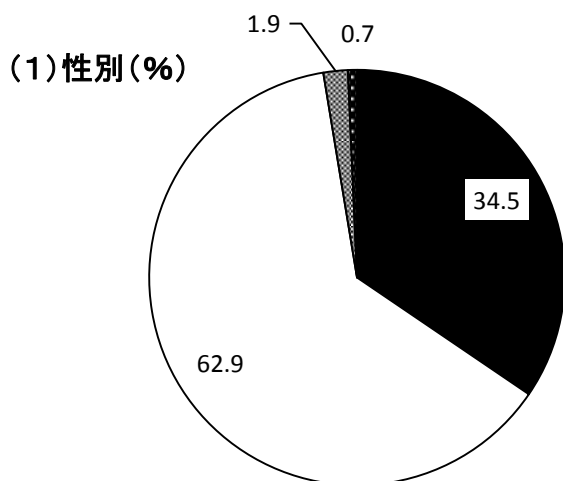
1 回答者の属性

性別 男性・・・34.5%、女性・・・62.9%、その他回答したくない・・・1.9%、無回答・・・0.7%

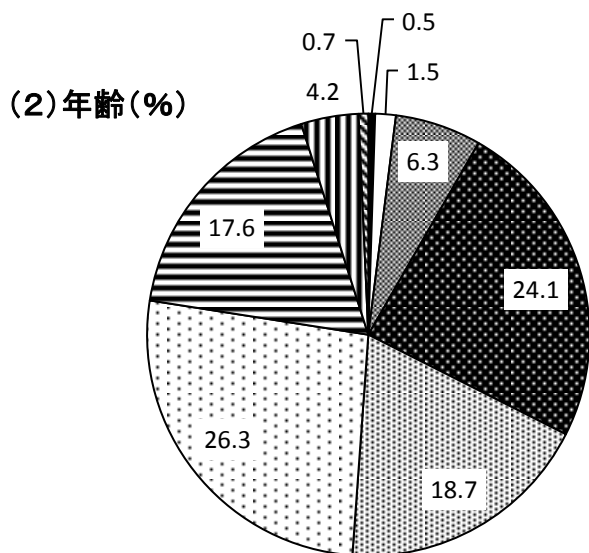
年齢 10歳代・・・6人、20歳代・・・19人、30歳代・・・80人、40歳代・・・304人

50歳代・・・236人、60歳代・・・332人、70歳代・・・222人

80歳以上・・・53人、無回答・・・9人

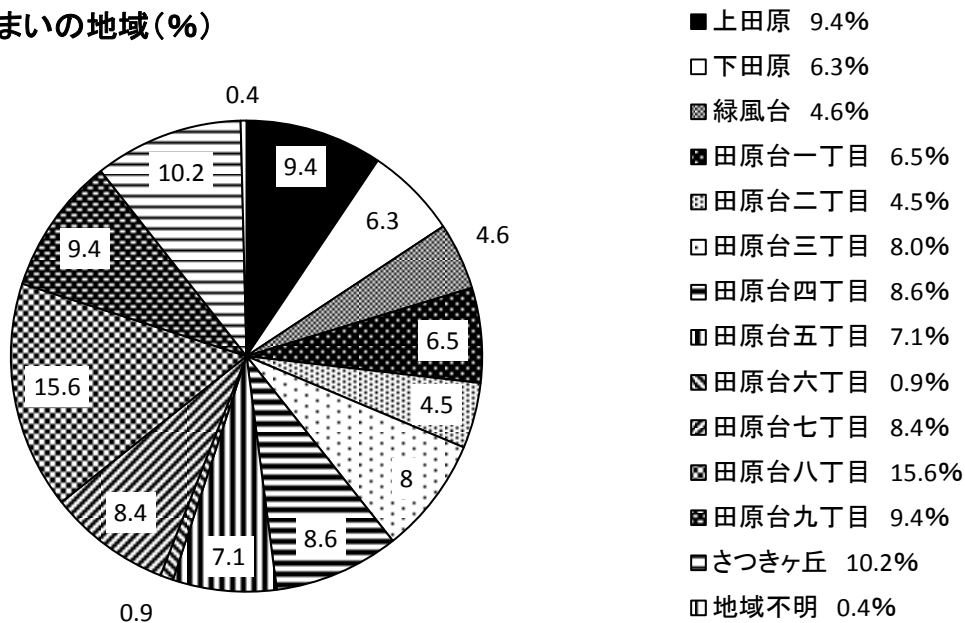


- 男性 34.5%
- 女性 62.9%
- ▨ その他、回答したくない 1.9%
- 無回答 0.7%

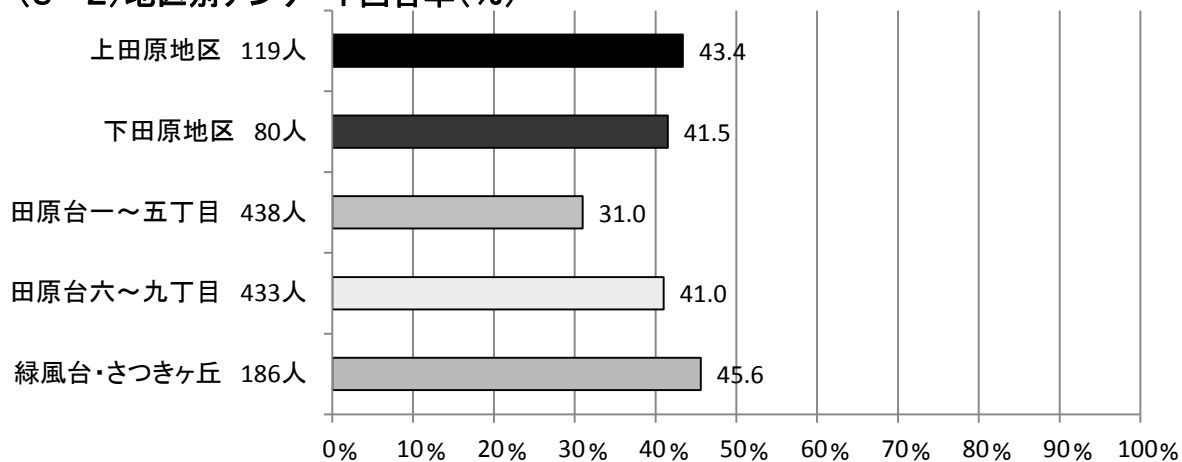


- 10歳代 0.5%
- 20歳代 1.5%
- ▨ 30歳代 6.3%
- 40歳代 24.1%
- ▨ 50歳代 18.7%
- 60歳代 26.3%
- ▨ 70歳代 17.6%
- 80歳以上 4.2%
- 無回答 0.7%

(3-1) お住まいの地域(%)

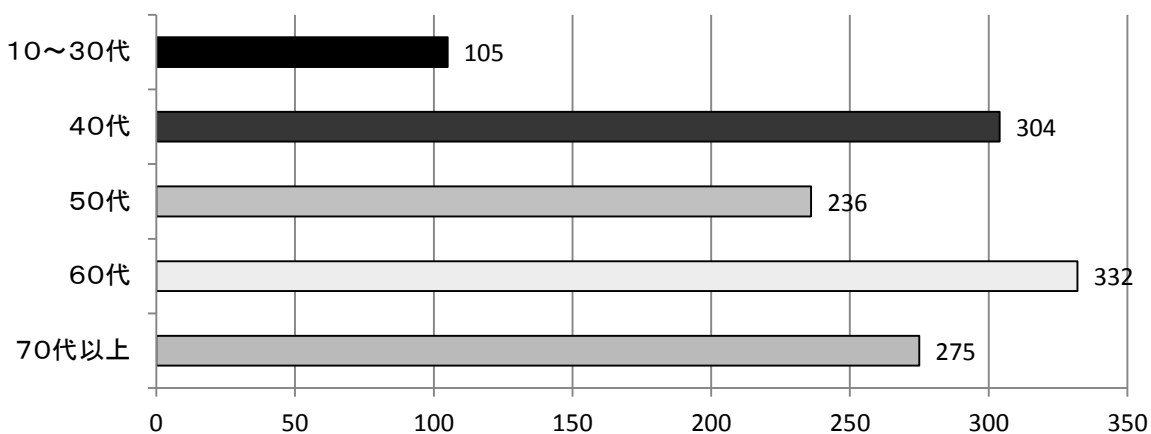


(3-2) 地区別アンケート回答率(%)

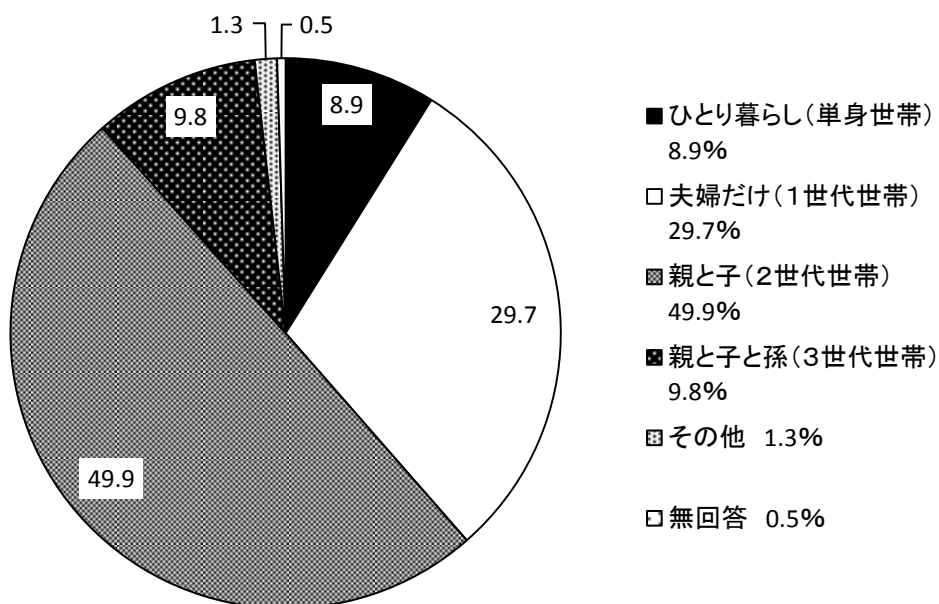


地区別アンケート回答率とは、アンケートの回答数を地区別内の世帯数で除したものと
する。

(3-3) 年齢別アンケート回答数(人)

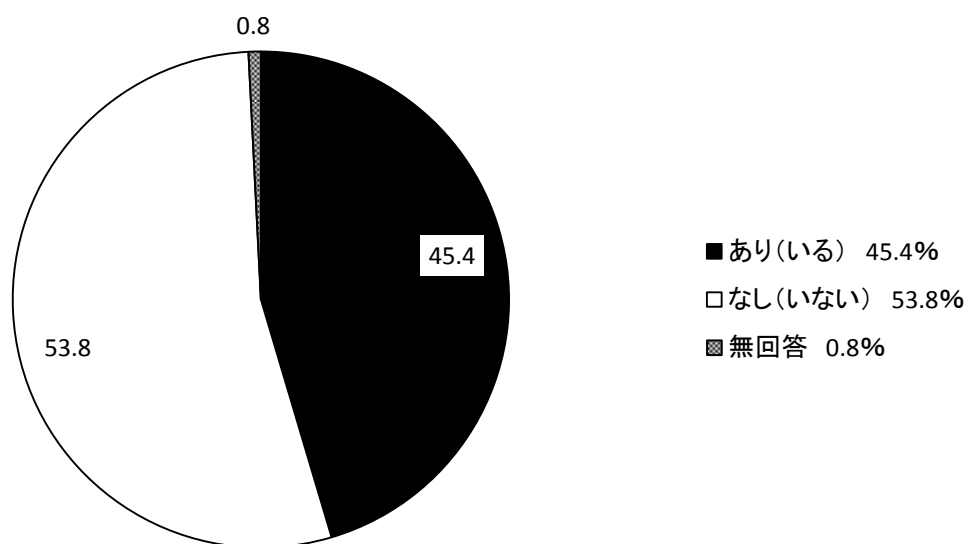


(4) 家族構成(%)



「親と子(2世代世帯)」が最も多く、次に「夫婦だけ(1世代世帯)」、「親と子と孫(3世代世帯)」、「ひとり暮らし(単身世帯)」、「その他」、「無回答」の順となりました。

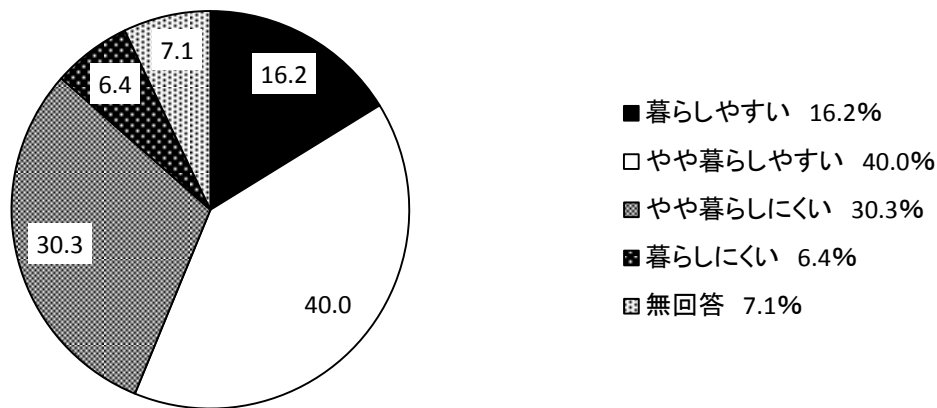
(5) 近くに居住する家族(%)



近く(30分以内)に居住する家族(親・子・兄弟姉妹)の有無についての設問については「あり(いる)」と回答した人の割合は45.4%、「なし(いない)」と回答した人の割合は53.8%となりました。

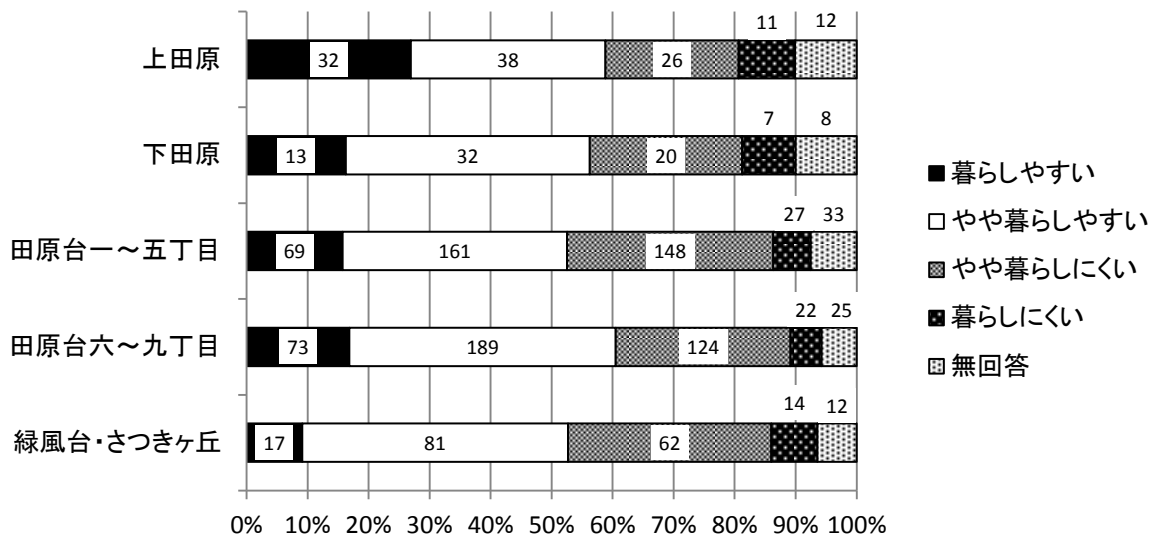
2 田原地域について

(1-1) 暮らしやすさについて(%)

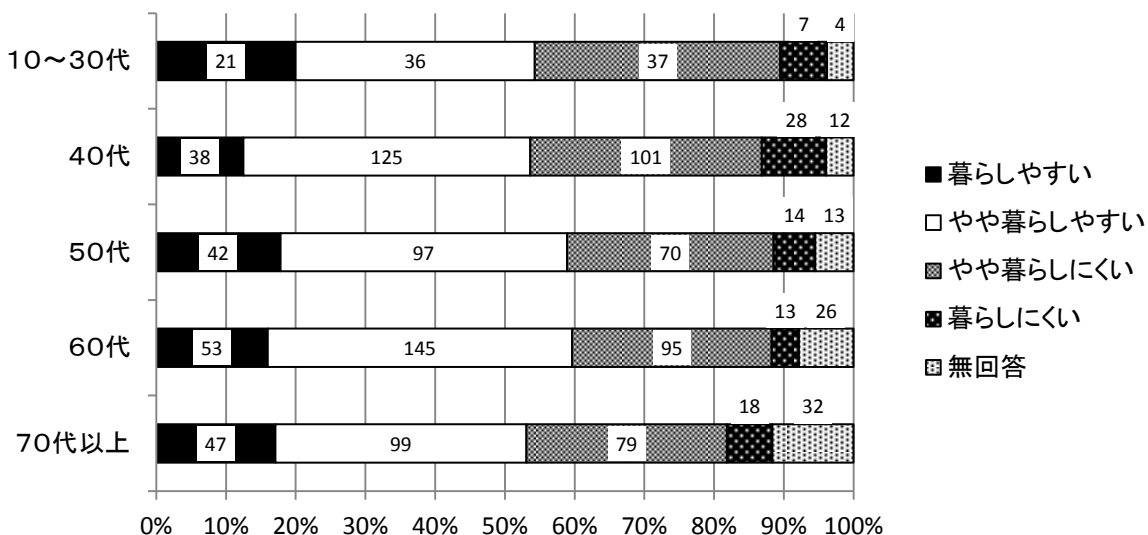


田原地域は全般的に暮らしやすいと思いますか？との設問については、「暮らしやすい」、「やや暮らしやすい」と回答した人の割合の合計が56.2%となり、「やや暮らしにくい」、「暮らしにくい」と回答した人の割合が36.7%となりました。

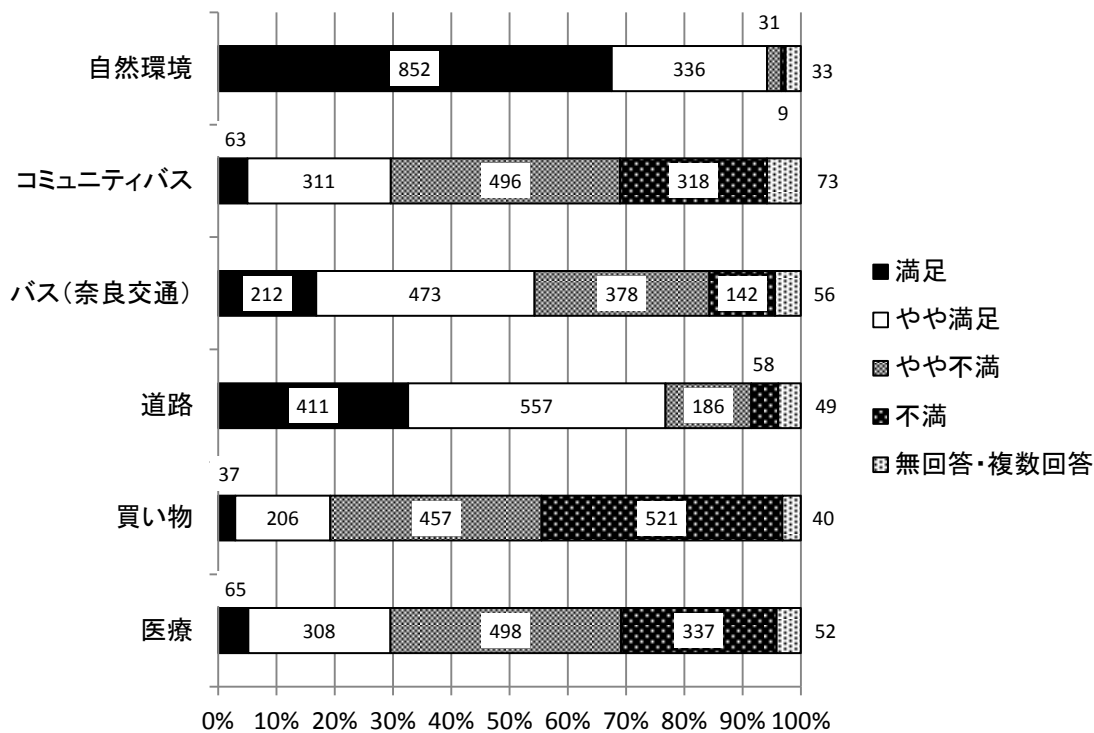
(1-2) 地区別、暮らしやすさについて(人)



(1-3) 年齢別、暮らしやすさについて(人)



(2-1) 田原地域の生活環境の満足度について(人)



「自然環境」については、「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が94.2%、「やや不満」、「不満」と回答した人の割合が3.2%となりました。

「コミュニティバス」については、「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が29.7%、「やや不満」、「不満」と回答した人の割合が64.5%となりました。

「バス(奈良交通)」については、「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が54.3%、「やや不満」、「不満」と回答した人の割合が41.3%となりました。

「道路」については、「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が76.8%、「やや不満」、「不満」と回答した人の割合が19.4%となりました。

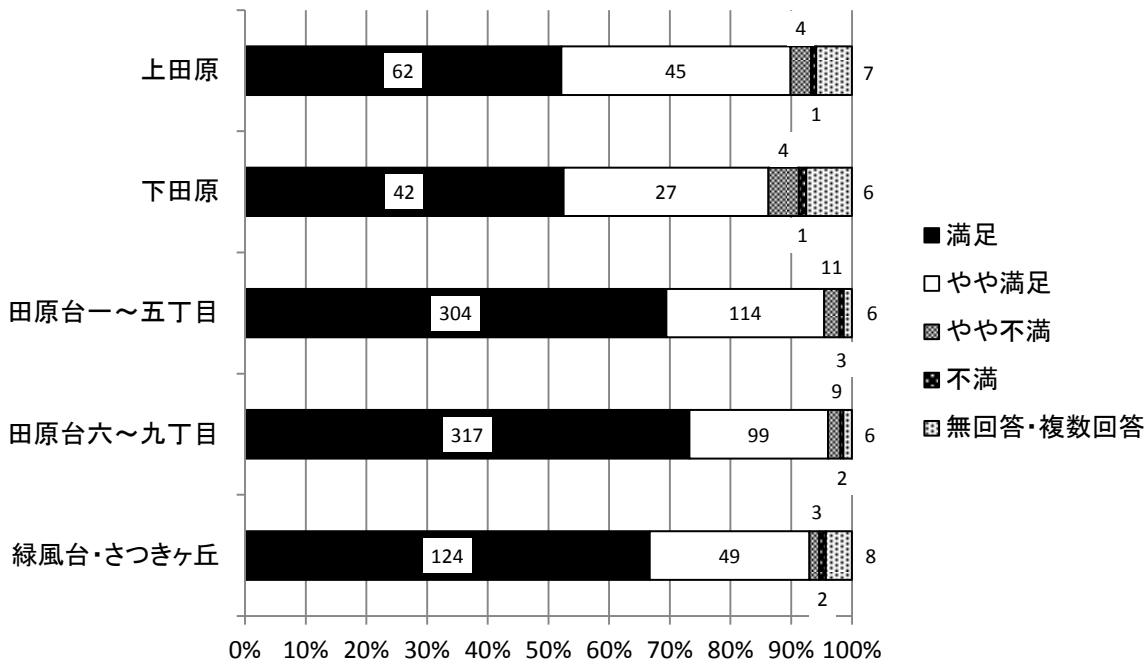
「買い物」については、「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が19.2%、「やや不満」、「不満」と回答した人の割合が77.5%となりました。

「医療」については、「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が29.6%、「やや不満」、「不満」と回答した人の割合が66.2%となりました。

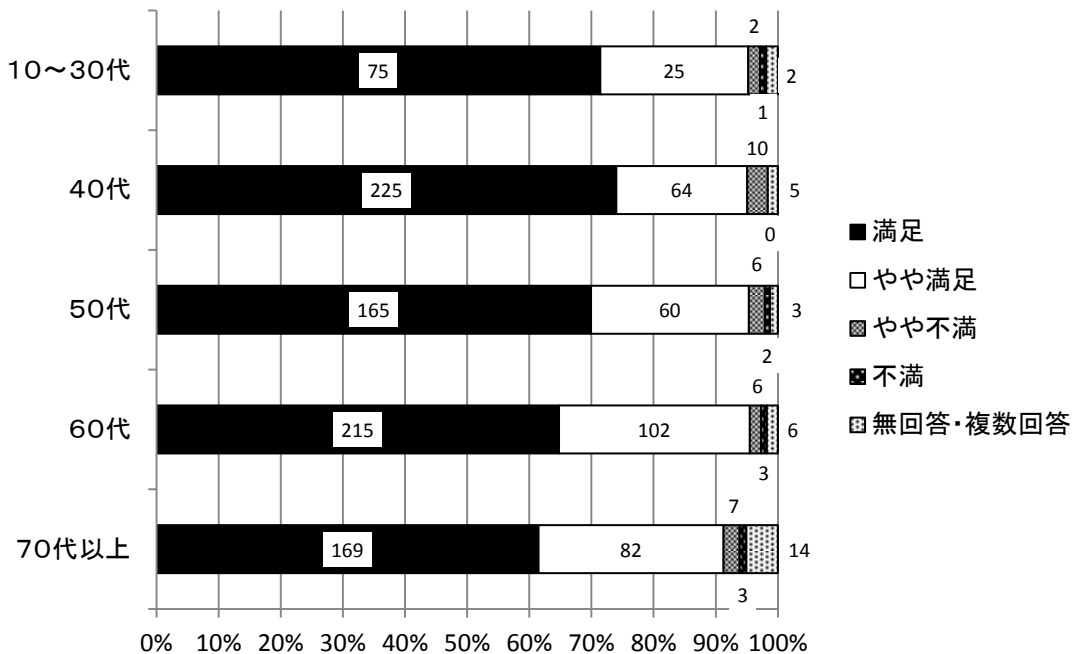
満足度の高さは「自然環境」、次に「道路」「バス(奈良交通)」、「コミュニティバス」「医療」、「買い物」の順となりました。

(2-2-1) 地区別・年齢別、自然環境の満足度について(人)

地区別

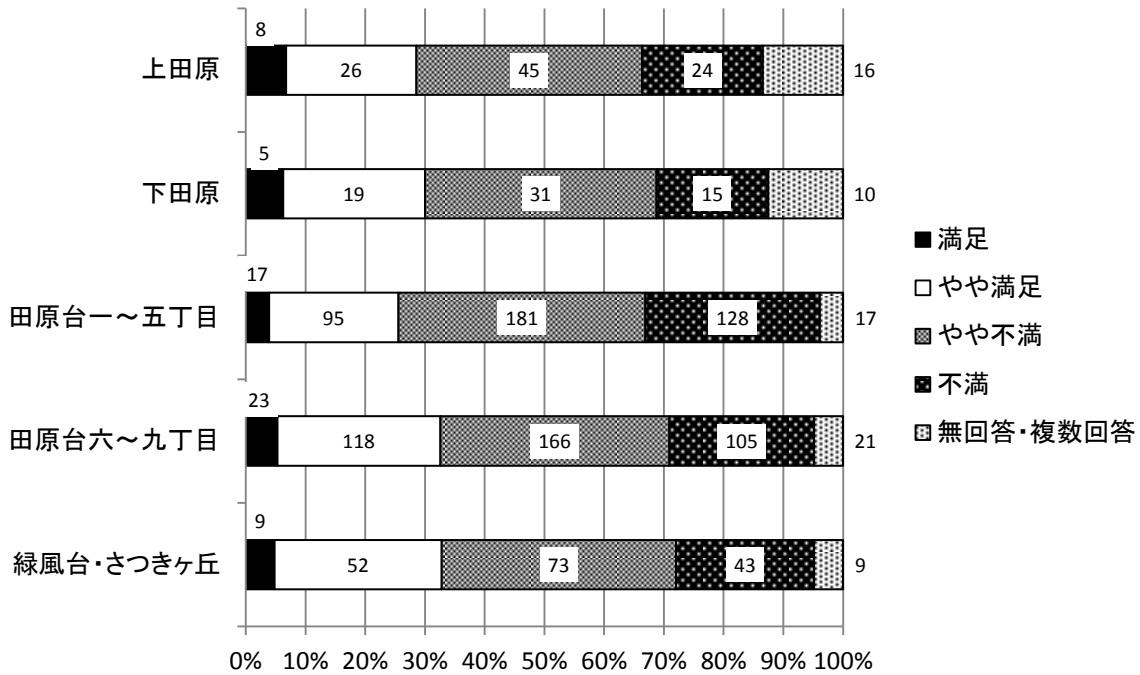


年齢別

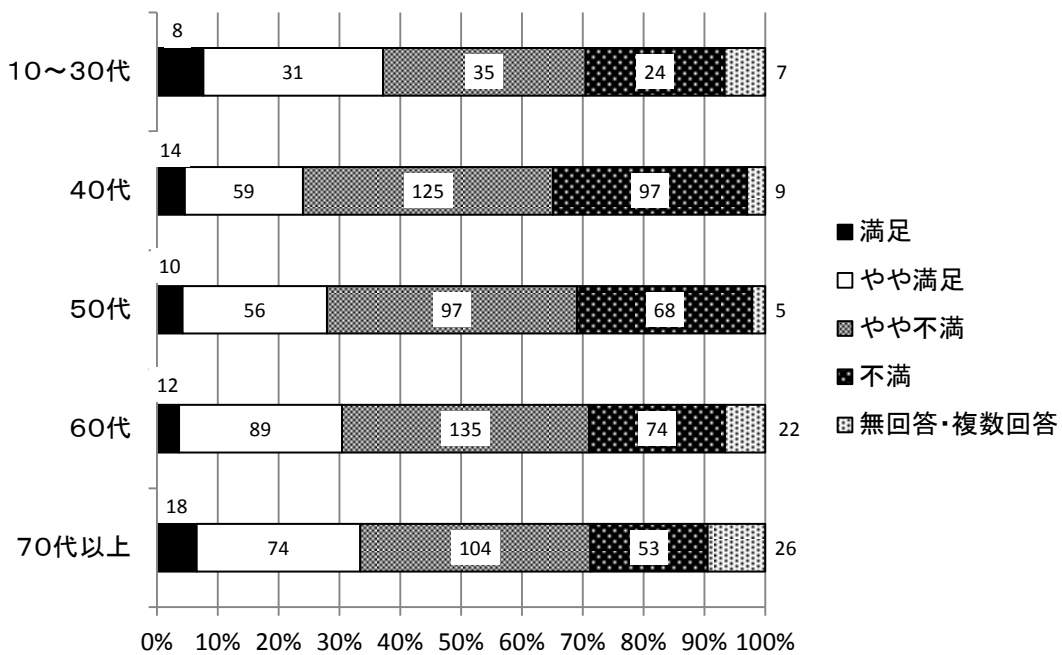


(2-2-2)地区別・年齢別、コミュニティバスの満足度について(人)

地区別

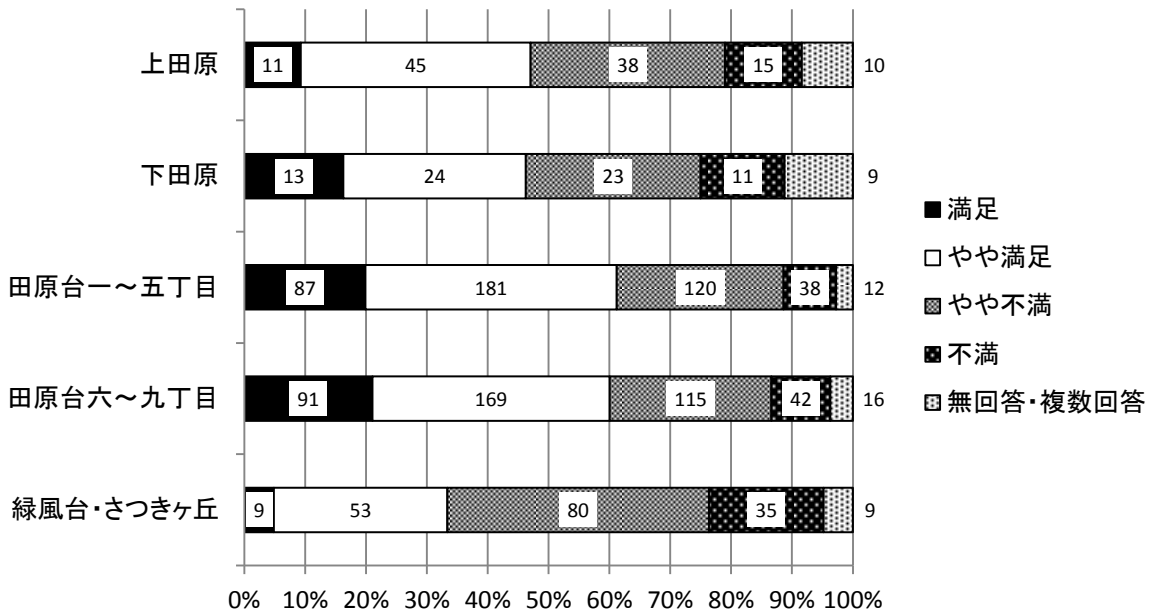


年齢別

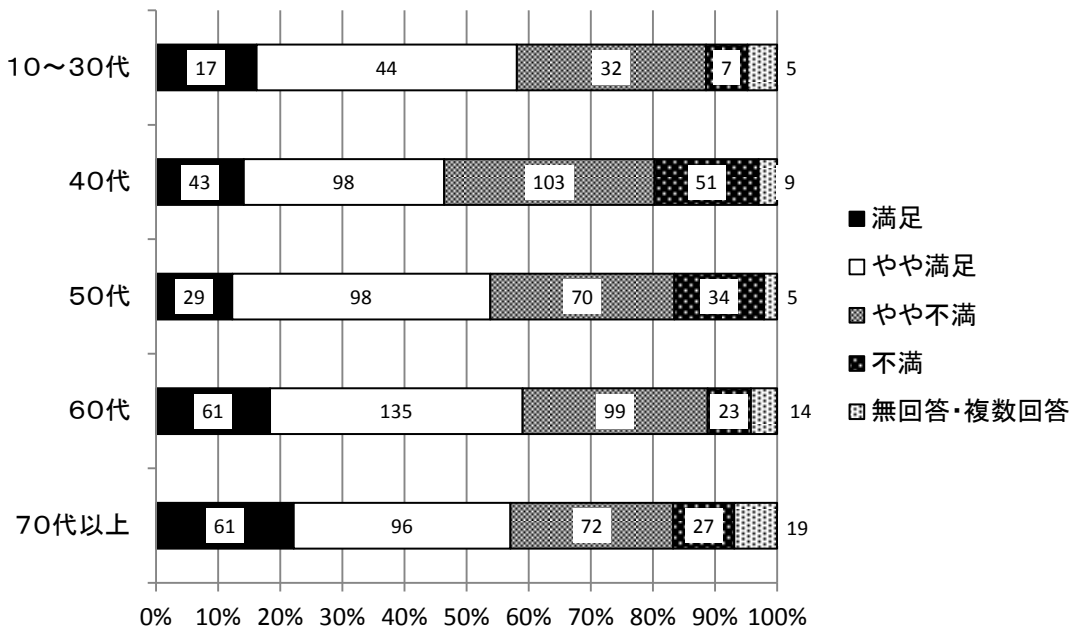


(2-2-3)地区別・年齢別、バス(奈良交通)の満足度について(人)

地区別

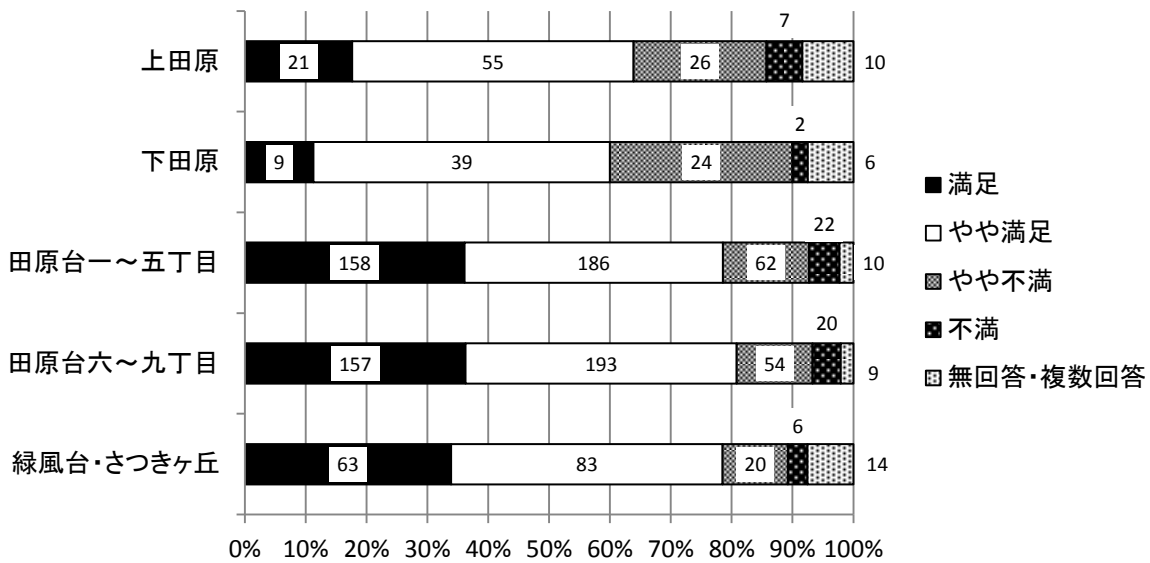


年齢別

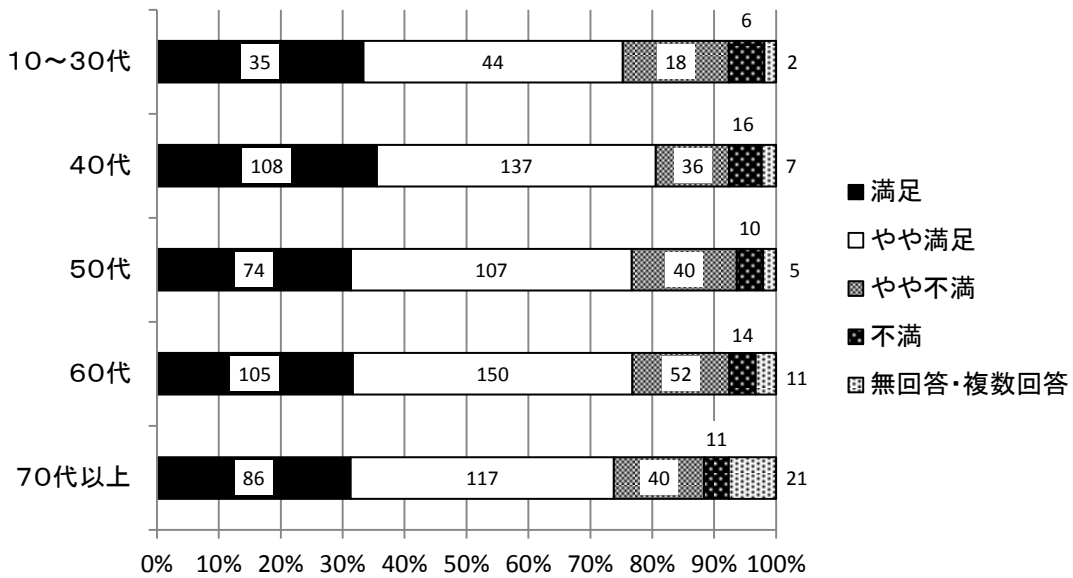


(2-2-4)地区別・年齢別、道路の満足度について(人)

地区別

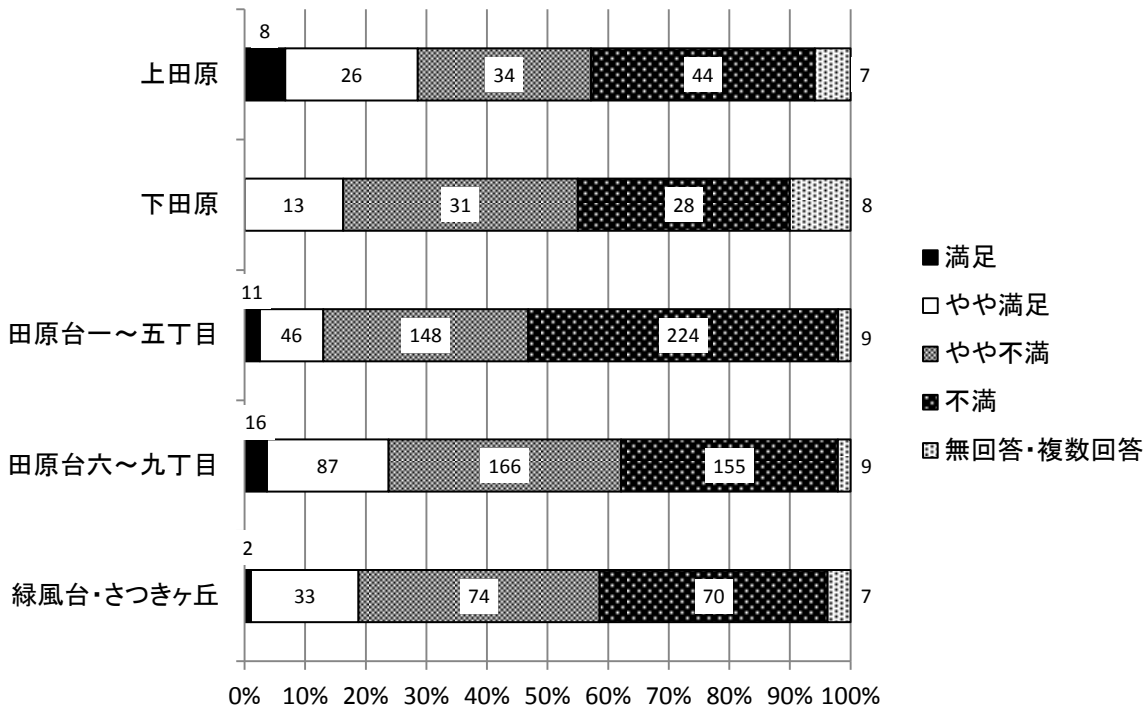


年齢別

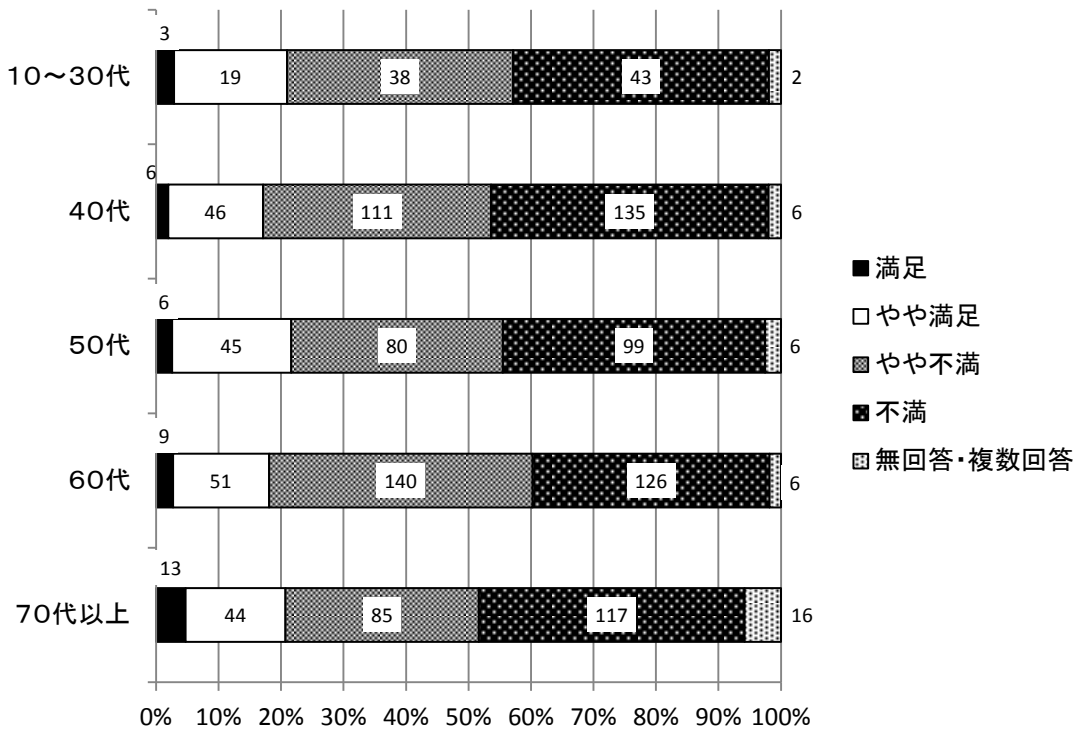


(2-2-5)地区別・年齢別、買い物の満足度について(人)

地区別

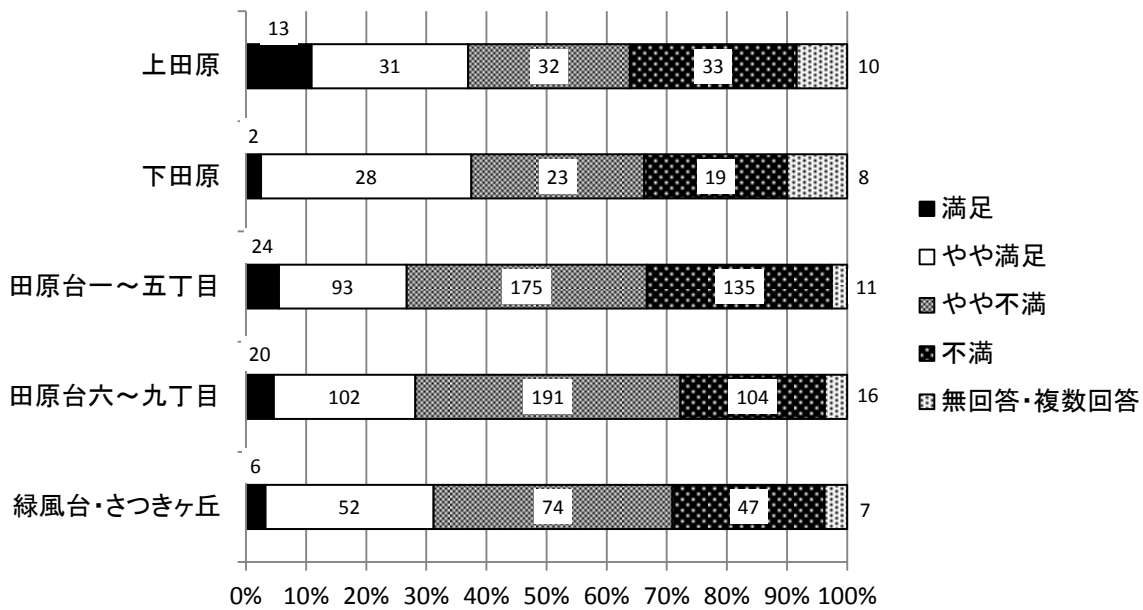


年齢別

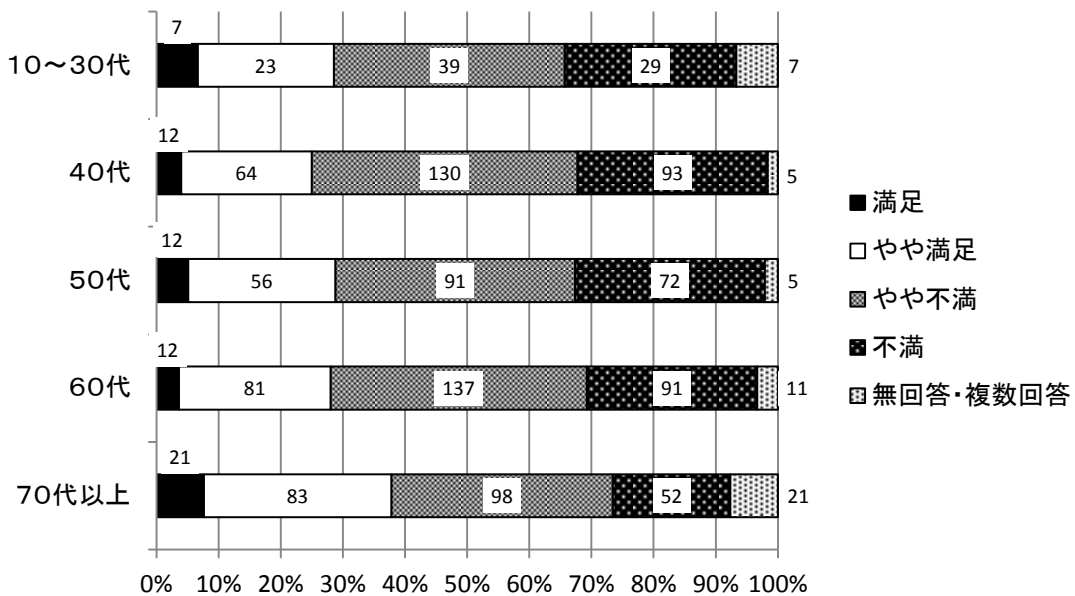


(2-2-6)地区別・年齢別、医療の満足度について(人)

地区別



年齢別



(2-3)暮らしやすさ等の得点化方法

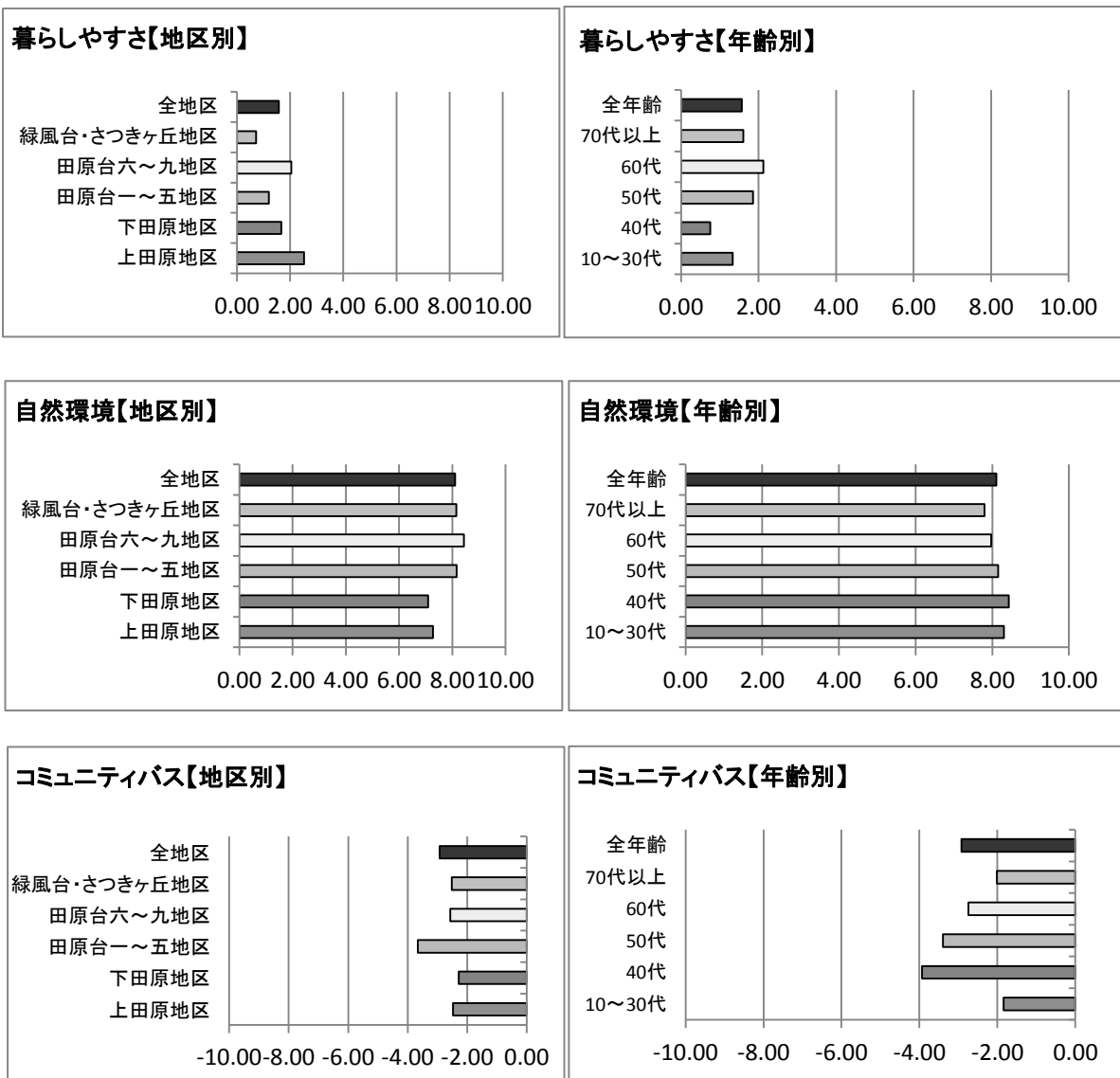
田原地域の全般的な暮らしやすさ、生活環境の回答結果を以下のような方法で得点化した。

	暮らしやすさ	満足度	得点化基準
(1)	暮らしやすい	満足	10点
(2)	やや暮らしやすい	やや満足	5点
(3)	やや暮らしにくい	やや不満	-5点
(4)	暮らしにくい	不満	-10点
(5)	無回答	無回答	母数から除外

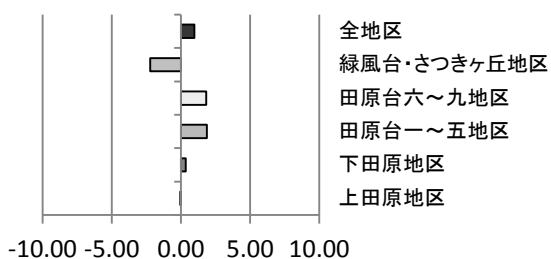
$$\text{得点} = \frac{[(1)の件数] \times 10 + [(2)の件数] \times 5 - [(3)の件数] \times 5 - [(4)の件数] \times 10}{[件数計] - [(5)の件数]}$$

+10点に近いほど評価が高く-10点に近いほど評価が低い。
0点の近辺は評価の高低が拮抗している。

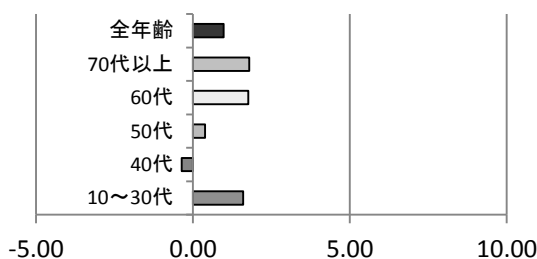
【得点化結果】



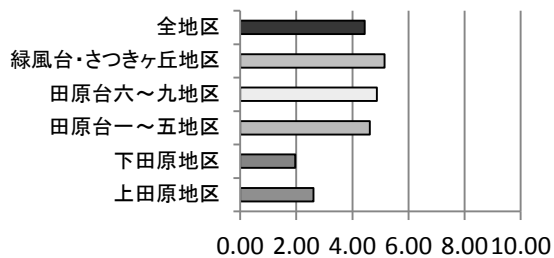
バス(奈良交通)【地区別】



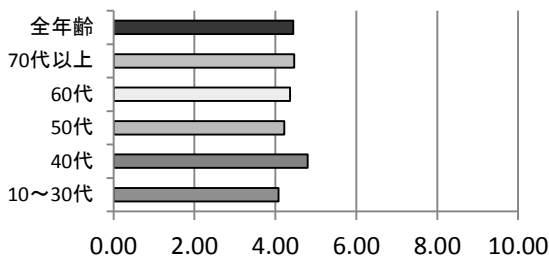
バス(奈良交通)【年齢別】



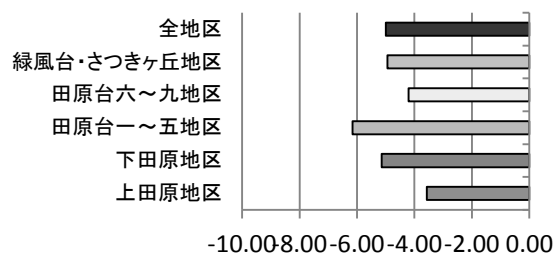
道路【地区別】



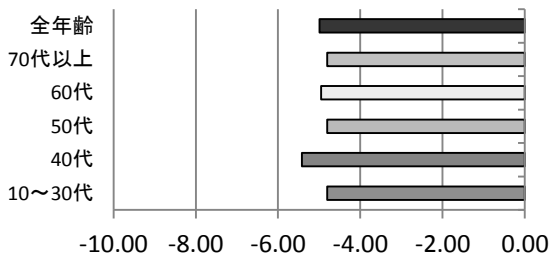
道路【年齢別】



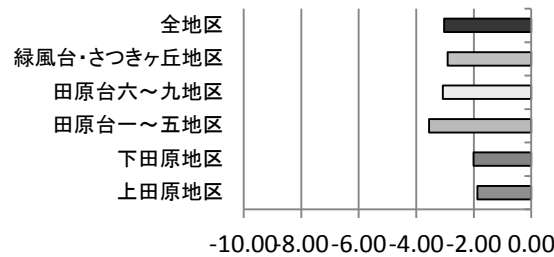
買い物【地区別】



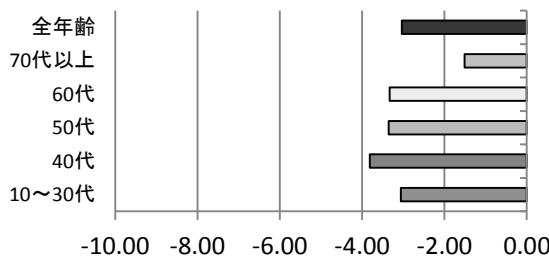
買い物【年齢別】



医療【地区別】

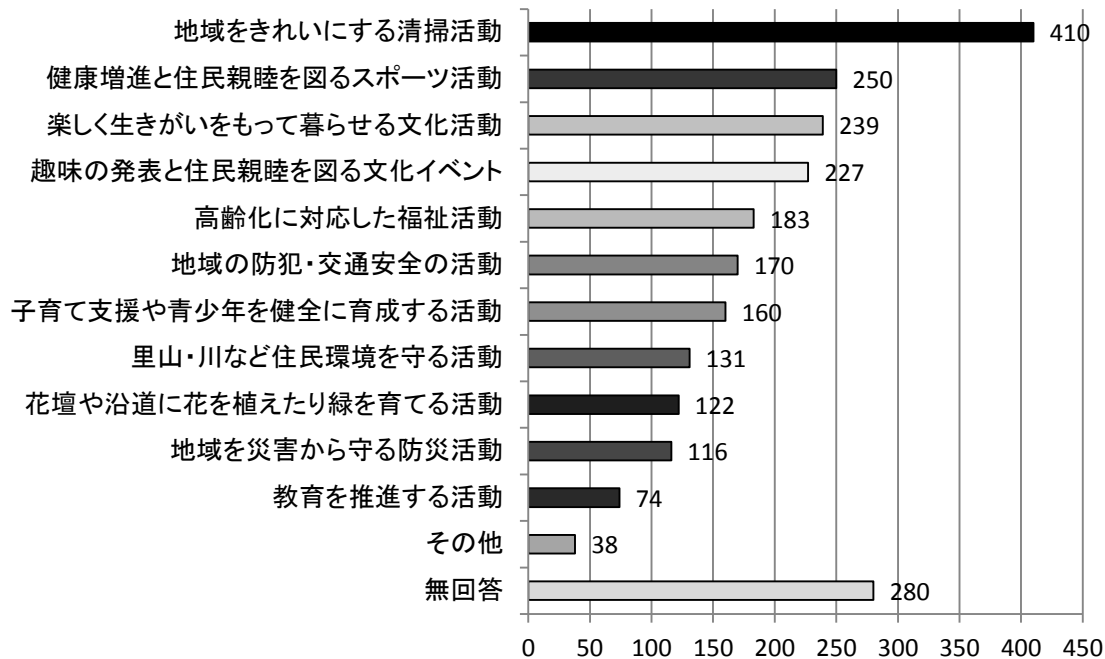


医療【年齢別】



3 地域活動について

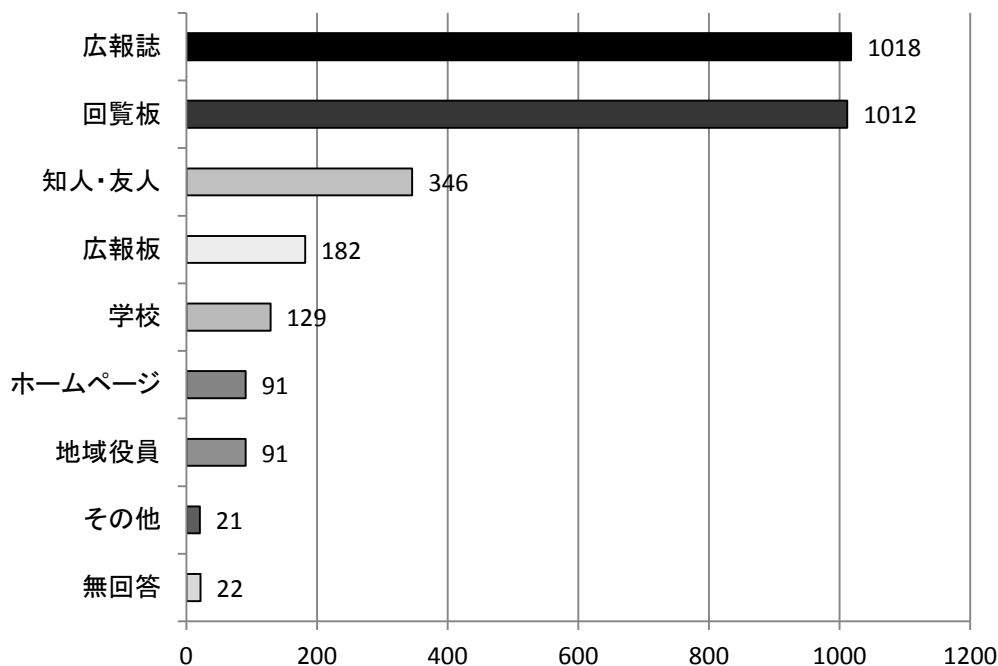
(1) 参加したい地域活動、行事(人)



参加したい(している)地域活動、行事などについての設問については、「地域をきれいにする清掃活動」と回答した方が最も多く、次に「健康増進と住民親睦を図るスポーツ活動」、「楽しく生きがいをもって暮らせる文化活動」の順となりました。

また、無回答の方は280人いました。

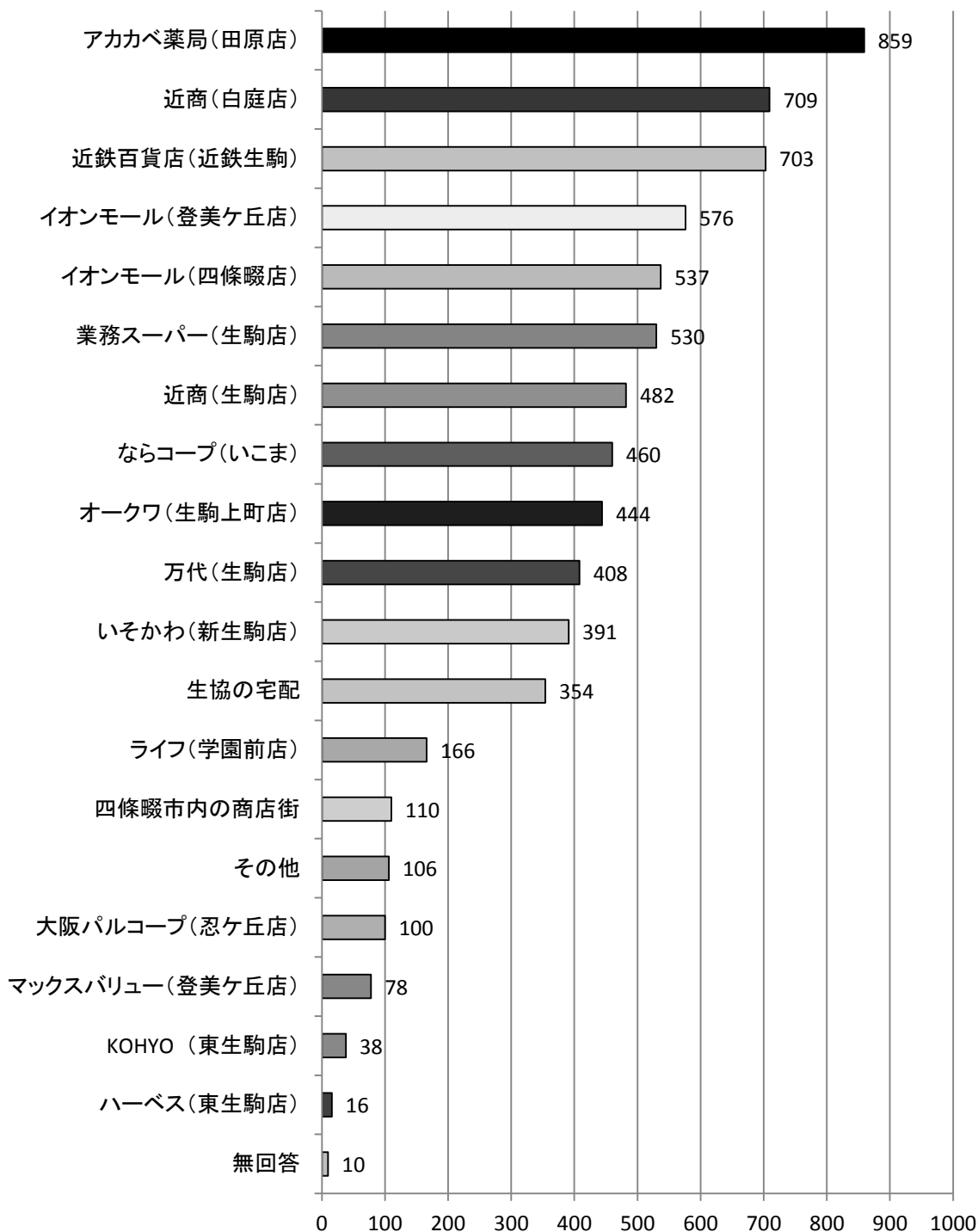
(2) 地域情報の取得方法(人)



地域の情報は、どのように取得していますかの設問には「広報誌」、「回覧板」が最も多く、次に「知人・友人」の順となりました。

4 普段の買い物に関して

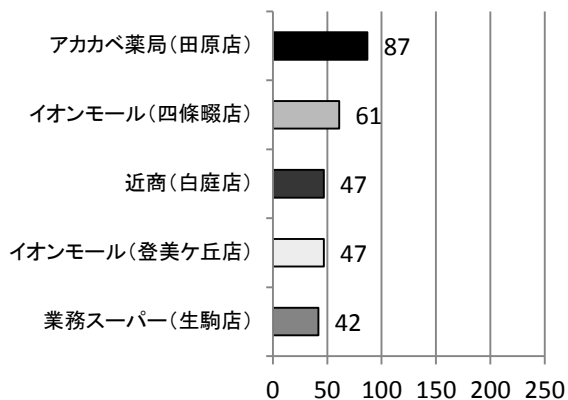
(1-1) 普段利用しているお店について(人)



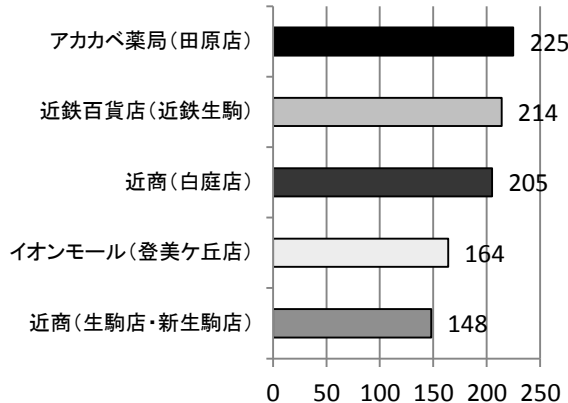
普段利用しているお店に関する設問では、「アカカベ薬局(田原店)」が最も多く、次に「近商(白庭店)」、「近鉄百貨店(近鉄生駒)」、「イオンモール(登美ヶ丘店)」、「イオンモール(四條畷店)」、「業務スーパー(生駒店)」の順になりました。

(1-2) 普段利用しているお店の年齢別(人) 上位5店舗

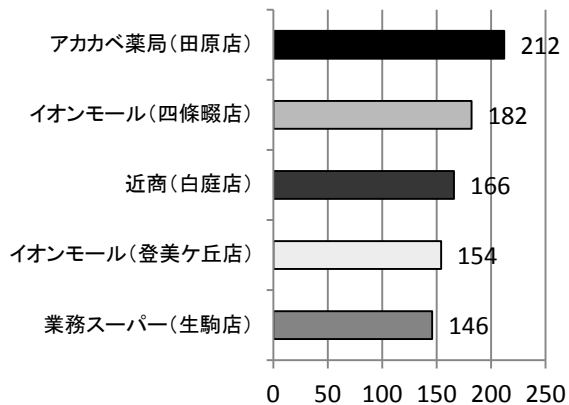
(10~30代) 普段利用する店



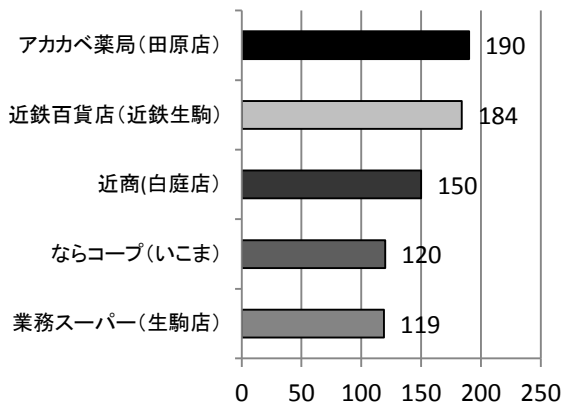
(60代) 普段利用する店



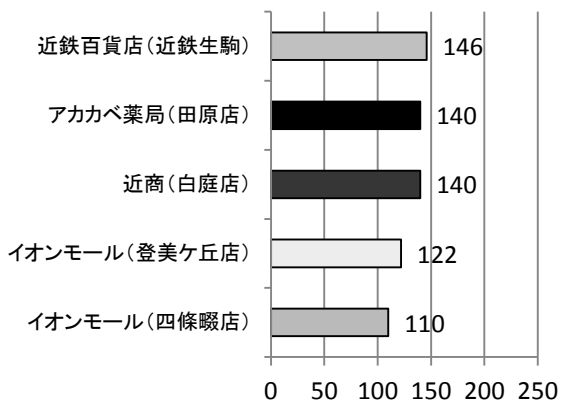
(40代) 普段利用する店



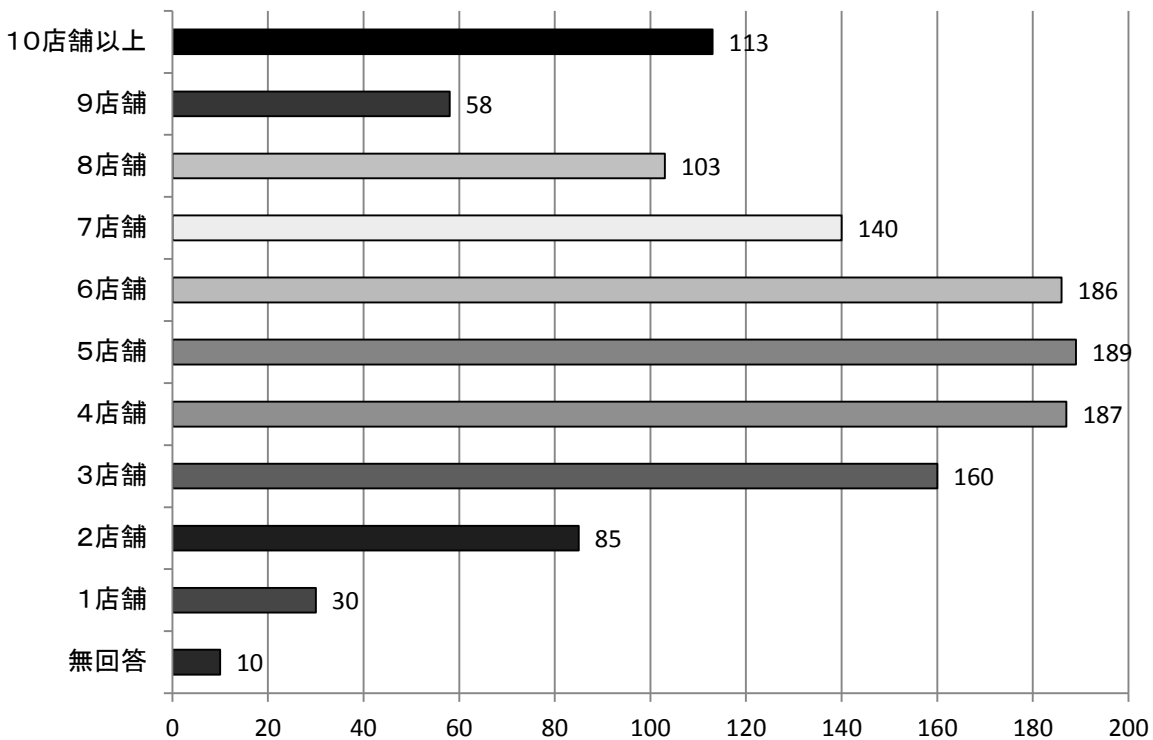
(70代以上) 普段利用する店



(50代) 普段利用する店

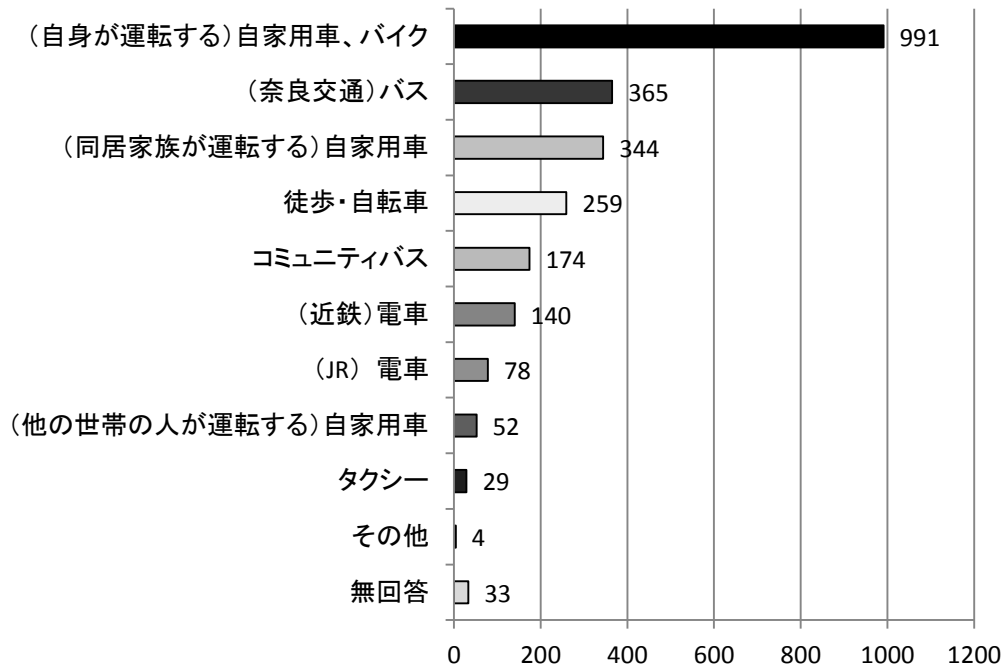


(1-3) 利用店舗数について(人)



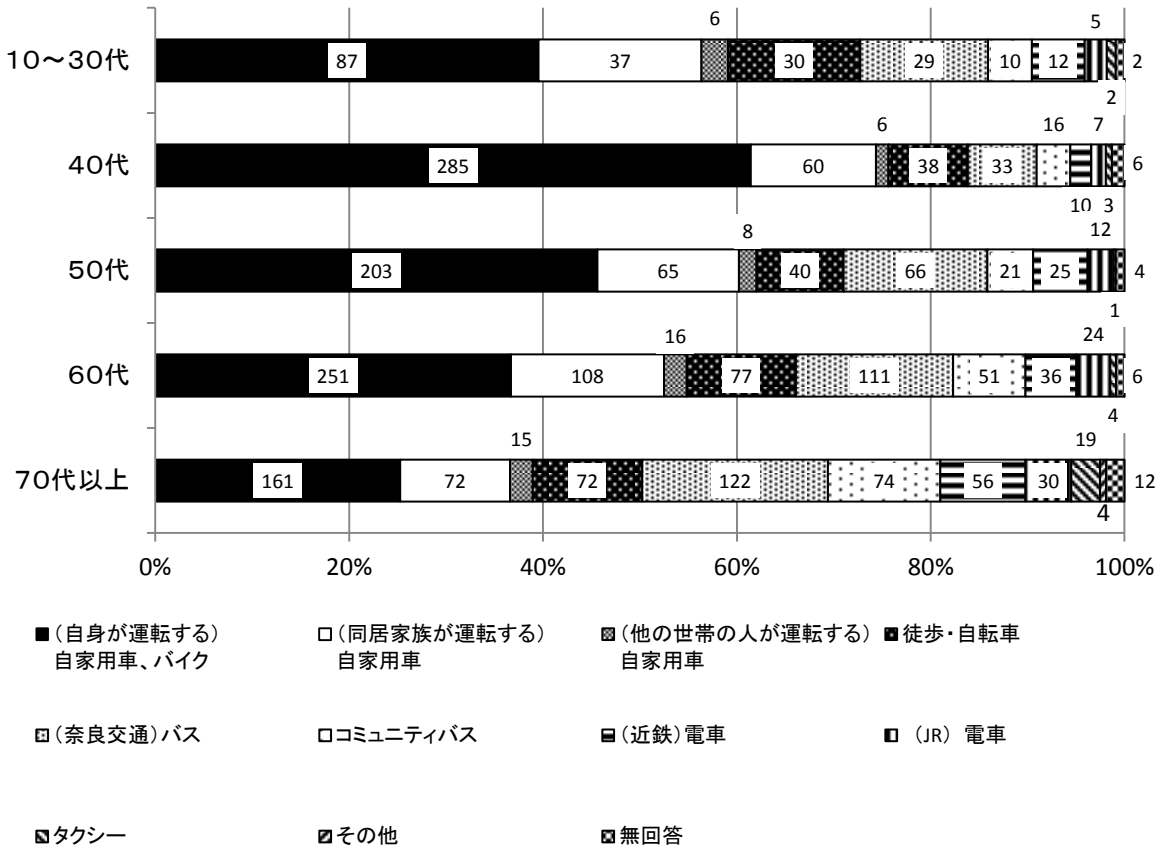
利用店舗数は5店舗が189人と最も多く、平均利用店舗数は5.6店舗となりました。

(2-1) お店への移動方法について(人)

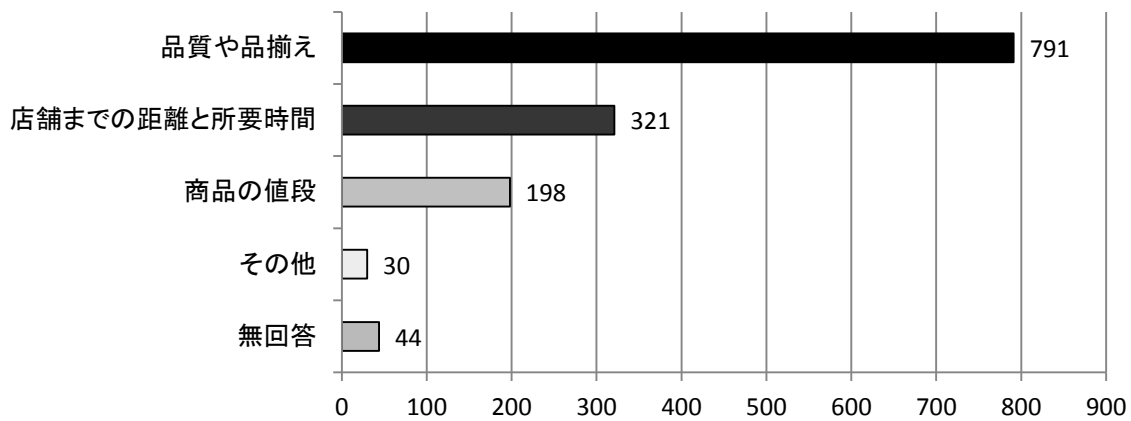


普段利用しているお店への移動方法に関する設問では、「(自身が運転する)自家用車、バイク」次に「(奈良交通)バス」、「(同居家族が運転する)自家用車」、「徒歩、自転車」の順となりました。

(2-2) 年齢別お店への移動方法について(人)

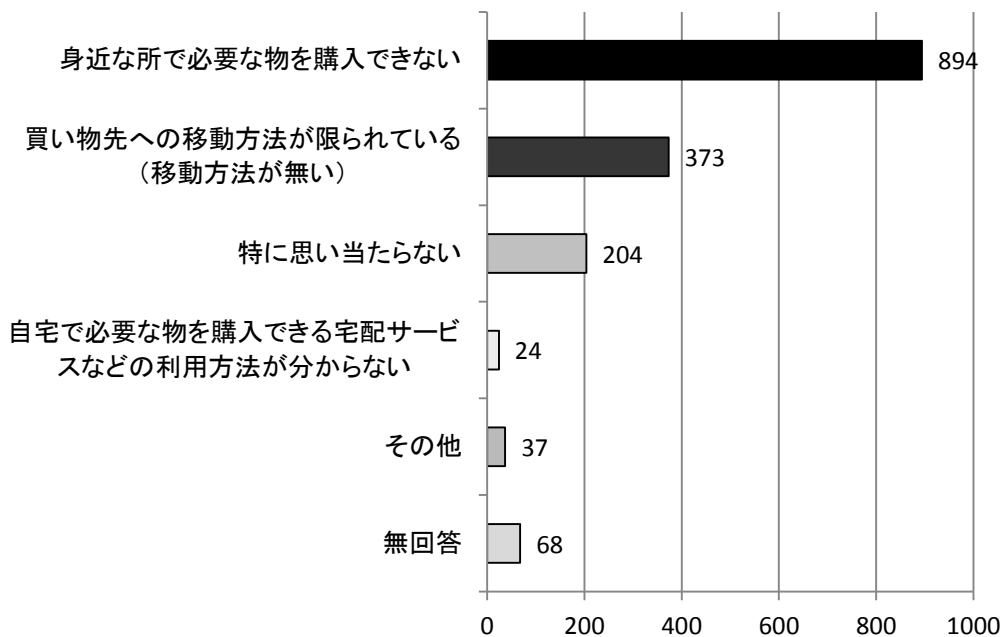


(3) 普段利用しているお店を選ぶ基準について(人)



普段利用しているお店を選ぶ基準に関する設問では、「品質や品揃え」の次に「店舗までの距離と所要時間」、「商品の値段」の順となりました。

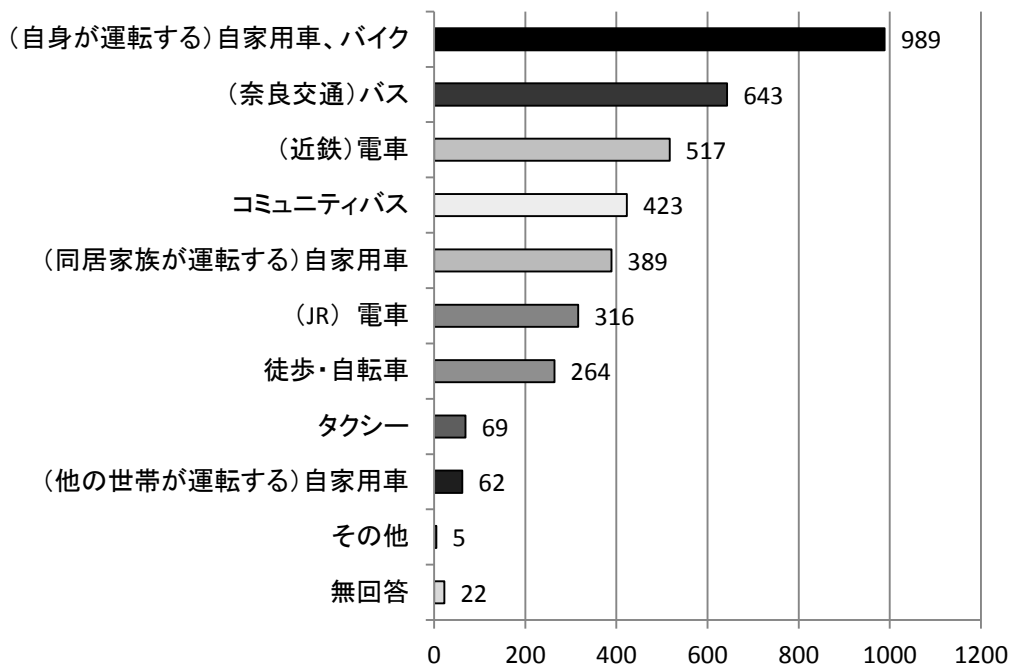
(4) 普段のお買い物で困っていることについて(人)



普段のお買い物するにあたり困っていることに関する設問では、「身近な所で必要な物を購入できない」と回答した人の割合が最も多く次に「買い物先への移動方法が限られている」、「特に思い当たらない」の順となりました。

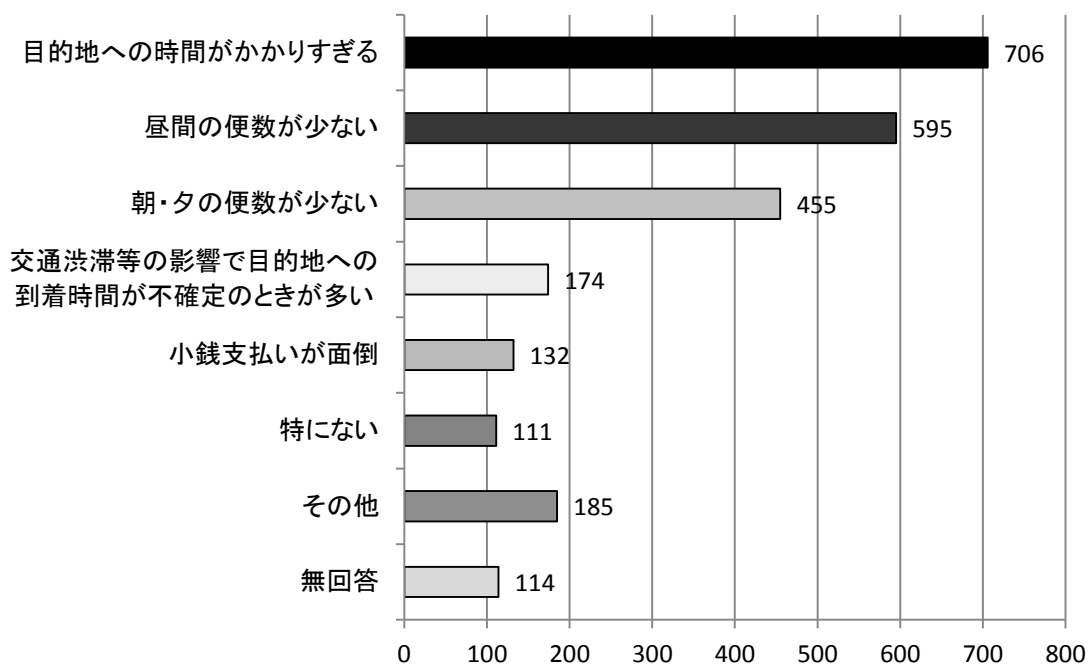
5 普段の移動方法

(1) 普段の移動方法について(人)



普段利用している移動方法に関する設問では、「(自身が運転する)自家用車、バイク」が最も多く、次に「(奈良交通)バス」、「(近鉄)電車」、「コミュニティバス」、「(同居家族が運転する)自家用車」の順となりました。

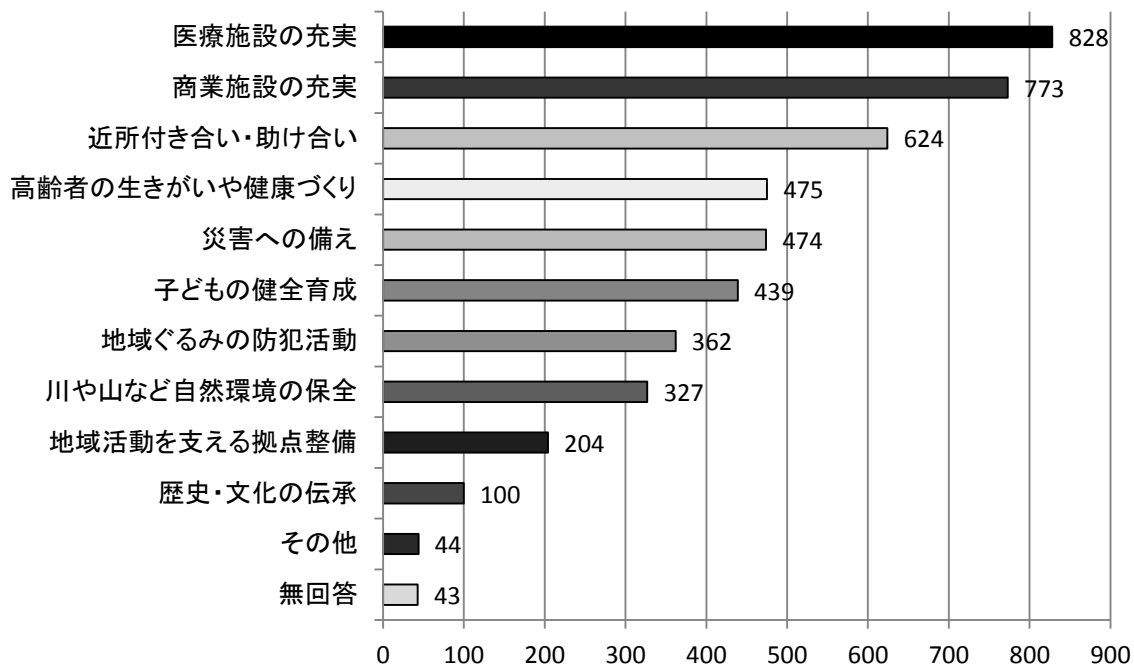
(2) コミュニティバスの不便なところについて(人)



コミュニティバスに対し不便と感じる内容に関する設問では「目的地への時間がかかりすぎる」と回答した人の割合が最も高く、次に「昼の便が少ない」、「朝夕の便が少ない」の順となりました。

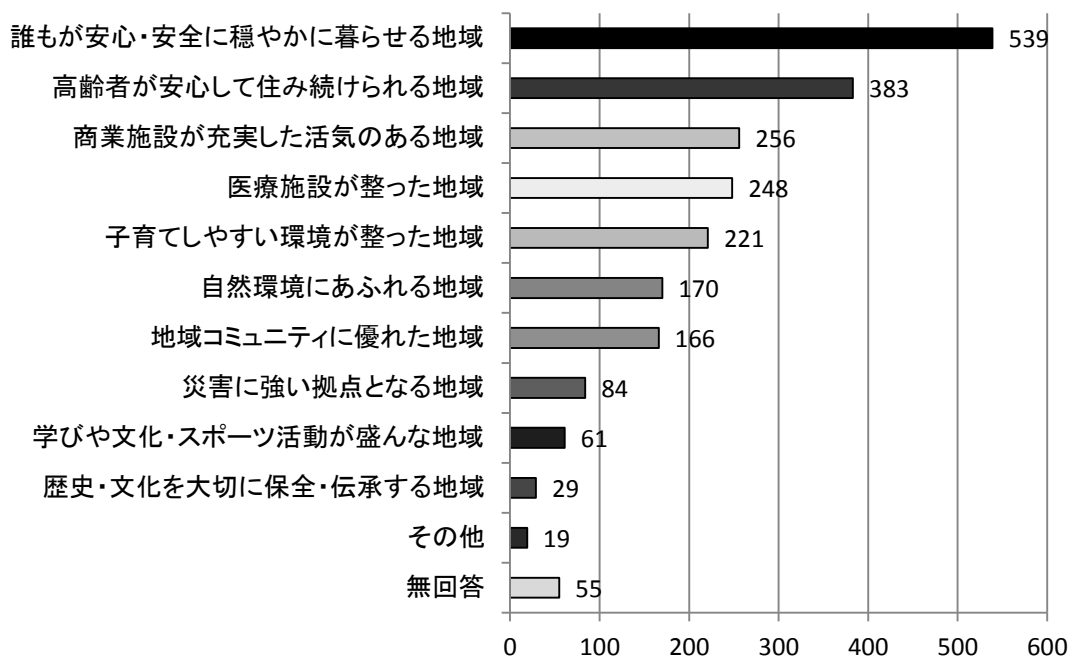
6 地域の将来のことについて

(1) 地域の将来について重視することについて(人)



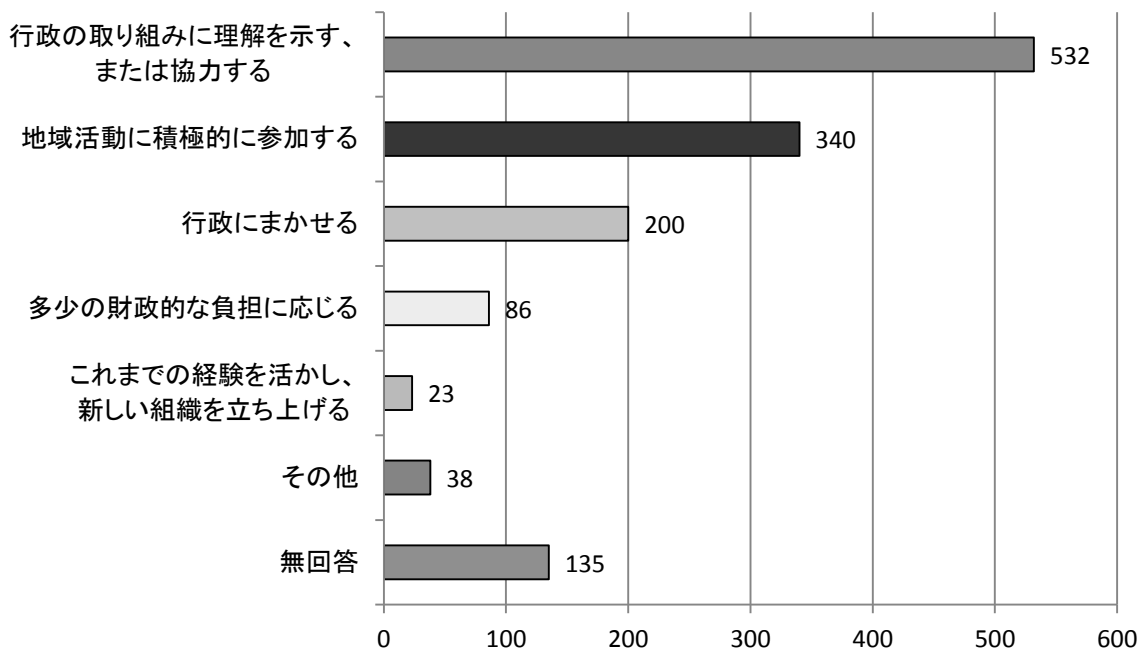
地域の将来を考えるうえで、特に重視すべきことに関する設問では、「医療施設の充実」が最も多く、次に「商業施設の充実」、「近所付き合い・助け合い」、「高齢者の生きがいや健康づくり」、「災害への備え」の順となりました。

(2) めざすべき田原地域の将来像について(人)



めざすべき田原地域の将来像についての設問では、「誰もが安心・安全に穏やかに暮らせる地域」と回答した人の割合が最も高く、次に「高齢者が安心して住み続けられる地域」、「商業施設が充実した活気のある地域」の順となりました。

(3) (2)で選んだ田原地域とするために何ができるかについて(人)



(2)で選んだ田原地域とするために何ができるかについての設問では、「行政の取り組みに理解を示す、または協力する」と回答した人の割合が最も高く、次に「地域活動に積極的に参加する」、「行政にまかせる」の順となりました。

7 主な自由意見

自由意見には、580件の記載がありました。主な意見は次のとおりです。

- ・公共交通機関(バス・鉄道等)の充実に関すること
- ・商業施設の充実に関すること
- ・防犯対策、パトロールの強化に関すること
- ・医療施設の充実に関すること
- ・交通安全(信号、カーブミラー等)に関する施設の設置、時間規制等の交通規制、自動車・自転車の運転マナーの向上に関すること
- ・公園の施設及び管理の充実に関すること
- ・高齢者、子育て施策の充実に関すること
- ・犬、猫の飼い主マナーに関すること
- ・教育の充実に関すること

調査の総括

○回答者の属性について

回答者の属性は、女性の回答者が6割程度を占め、40代から70代の年齢層の回答が高い。地区別のアンケート回答率は、緑風台・さつきヶ丘が最も高く、田原台一～五丁目が最も低い結果となりました。次に家族構成は親と子の2世代世帯がほぼ半数を占め、次に夫婦だけの世帯が約3割を占めました。

また、近く(30分以内)に居住する家族がいると回答した人は約45%いました。

○田原地域の暮らしやすさについて

暮らしやすさについては、半数以上の方が暮らしやすいと回答しました。

地域別では、「暮らしやすい」と回答した比率が最も多かったのは上田原地区、「暮らしやすい」、「やや暮らしやすい」と回答した比率が高かったのは、田原台六～九丁目となりました。年齢別では、「暮らしやすい」、「やや暮らしやすい」の回答は、60代が最も多くなりました。

生活環境の項目で「満足」、「やや満足」の回答が多かった項目は、「自然環境」、「道路」、「バス(奈良交通)」の順となりました。

一方で「不満」の回答が41.3%と最も多かった項目は「買い物」、次に「医療」、「コミュニティバス」の順となりました。

生活環境の項目で「やや不満」、「不満」と答えられた方からは、次のような意見を頂きました。

◇自然環境について…公園、植栽、樹木の適正管理に関すること。

◇コミュニティバスについて…便数や到着時間に関する意見以外に、鉄道との乗り継ぎの不具合、四条畷駅と忍ヶ丘駅をほぼ同時刻に出発するダイヤの工夫、大型ショッピングモールへの直通バスの開設に関すること。

◇バス(奈良交通)について…運賃の価格に関すること。

◇道路について…国道163号の整備延伸に関すること、奈良方面からの田原管内を抜け道としている通過交通に対し規制や、信号機設置に関すること。

◇買い物について…歩いていける範囲内に生鮮食品が購入できる店がないこと。

◇医療について…眼科、耳鼻科、皮膚科など身近にないこと。

○地域活動について

参加したい地域活動・行事では「地域をきれいにする清掃活動」、「健康増進と住民親睦を図るスポーツ活動」、「楽しく生きがいをもって暮らせる文化活動」が順に並ぶが、一方で無回答の方が280人、全体の22%となり、地域活動への関心が低い方もいることがうかがえます。

次に、地域情報の取得方法については、約8割が「広報誌」、「回覧板」を活用されていることから、情報発信については、この2項目を重点的に行ってまいります。

○普段の買い物に関して

普段利用しているお店で多いのは、「アカカベ薬局(田原店)」、「近商(白庭店)」、「近鉄百貨店(近鉄生駒)」、「イオンモール(登美ヶ丘店)」、「業務スーパー(生駒店)」、「イオンモール(四條畷店)」の順に並びます。

年齢別に上位5店舗の集計を行った結果では、いずれの年齢層においても、「アカカベ薬局(田原店)」、「近商(白庭店)」が上位5店舗内にあり、利用頻度が高いことがうかがえます。

「10～30代」、「40代」、「50代」では、「イオンモール(四條畷店)」の利用が高い傾向にあり、「50代」、「60代」、「70代以上」では、「近鉄百貨店(近鉄生駒)」の利用が高いことがうかがえます。また、「10～30代」、「40代」、「70代以上」では業務スーパーの利用が高いことが判りました。

また、普段利用している店舗数については、4店舗から6店舗利用されている方が多くいました。

次に店への移動方法では、約8割が「(自身が運転する)自家用車、バイク」を利用しており、店を選ぶ基準は、約6割が品質や品揃えを選定基準とされています。

普段の買い物でのお困りごとについては、「身近なところで必要なものを購入できない」が約7割を占めました。

このことから、若年層から中高年齢層と高齢者層によって購買する店舗に対する嗜好が異なること、食材の品質等を考慮し複数店舗で購入していることが、確認できました。

○普段の移動方法

普段の移動方法は「(自身が運転する)自家用車、バイク」が多いが、お店への移動方法と比較すると「(奈良交通)バス」、「(近鉄)電車」、「コミュニティバス」といった公共交通機関の利用も多い傾向がありました。これは、通勤・通学に、公共交通機関を利用している為と考えられます。

次に、コミュニティバスへの不便と感じる内容としては、「目的地への時間がかかりすぎる」が最も多く、「昼間の便数が少ない」、「朝・夕の便数が少ない」の順となりました。

○地域の将来について

地域の将来を考えるうえで重視することでは「医療施設の充実」、「商業施設の充実」が並び、各施設の充実への関心が高い一方で、めざすべき田原地域の将来像では、「誰もが安心・安全に穏やかに暮らせる地域」であることを望んでいる方が多くいました。